

神田警察通り 賑わい社会実験 2016 開催報告

2017 年 2 月発行 **01**

編集・発行：神田警察通り賑わい社会実験
実行委員会（神田警察通り沿道整備推進協
議会・UR 都市機構）

問合先：UR 都市機構 東日本都市再生本部
事業企画部第 1 グループ（担当者：月岡・今井）
TEL：03-5323-0421
Eメール：kanda-pj@ur-net.go.jp

将来の神田警察通りを車中心から人中心の通りに変え、
周辺にお住まいの方や働く方にとっての未来の神田のラ
イフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくり
として、3つの取組みを行いました。

ミニ社会実験 & オープンワークショップ



ミニ社会実験 & オープンワークショップ

神田警察通りの車道の一部に設置したフリースペースを、来場した約 200 名の方に体験してもらいました。その中で、「このエリアのお気に入りの場所」へのシール投票や、国内外のたくさんの事例写真を選んでいただきながら「神田にこんな場所があったらいいな」を聞きました。

トークセッション & ワークショップ

ゲストのデイビッド氏（ゲール・アーキテクト）、馬場氏（公共 R 不動産）から、先進事例や海外事例を交えたヒントをもらいました。その後、神田に関心をもって集まった約 40 名が 8 グループに分かれ、未来の神田のライフスタイル・ワークスタイルにつながる魅力的なアイデアを出し合いました。



11.25 FRI 18:30—21:00



11.22 TUE — 11.26 SAT

行動調査

この社会実験のために来日したゲール・アーキテクト（「人間中心のまちづくり」を提唱）・デイビッド氏、エヴィ氏とともに、このエリアを普段使用する人々の行動調査を行いました。歩行者や自転車、車の量のほか、神田公園や広場で行動観察し、朝・昼・夜の変化を調べました。

オープンワークショップ 神田のお気に入りスポット

神田警察通りから一本裏に入った路地空間や、靖国通り沿いには飲食店やオープンスペースをはじめたくさんのお気に入りスポットがあげられました。



オープンワークショップ こんな場所があったらいいな

緑のあるゆったりとしたくつろぎの空間や飲食・遊び・アートの楽しめる場所が求められています。また、路地空間を活かした隠れ家的なお店やおしゃれなしつらえにもニーズがありました。

みどり／Green

緑のある歩道やくつろぎのスペース



建物の緑化



空間／Space

路地・生活感・昔ながら



隠れ家・小さなお店



おしゃれなしつらえ・デザイン



キッチンカー・屋台



ランチや食事を楽しめる



オープンカフェ



Public Space
どの中間領域



ゆっくり歩ける広い歩道



アクティビティ／Activity

子どもの遊び場



遊び・運動



スポーツ・運動・遊び



アート



アート



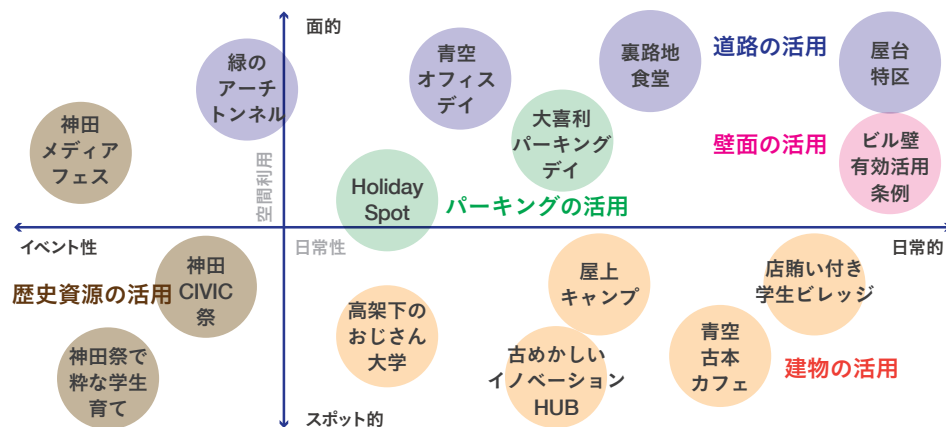
ワークショップ

未来の神田のライフスタイル

道路や壁面、パーキング、建物、歴史資源や文化資源などの Public Space*を活用した16の未来の神田のライフスタイル・ワークスタイルのアイデアが話し合いの中で提案されました。

様々な Public Space*を対象にしたアイデアが提案された中で、Public space をイベント的に活用するよりも、日常的な活用によりライフスタイルやワークスタイルを豊かにするアイデアが多く出されました。

*本社会実験において Public Space は、道路や公園だけでなく、まちに開かれた空間等を広く総称しています。



道路を活用したライフスタイル提案

- ①屋台特区：神田を屋台特区にして、18 時以降は誰でも何でも屋台を出せるエリアをつくろう、というプロジェクト。屋台のない時間帯もパブリックスペースを有効に活用。
- ②裏路地食堂：複数のお店が裏路地を管理、管理しているスペースはお店として使って OK とする。
- ③青空オフィスデイ：○曜日は青空オフィスデーと定め、その日はオフィスの前の路地で仕事をする。異なる会社同士の交流の場となる。人がいなくなったオフィスは、家族が見学したり、就活生が見学したり。
- ④みどりのアーチトンネル：路地を緑のアーチ化して景色を楽しむ。期間限定カフェ。

建物を活用したライフスタイル提案

- ①店賄い付学生ビレッジ：学生寮に住んでいれば、飲食店で割引が効く。割引分は行政が補てん。学生にやさしいまちとして学生が集まってくるまちに。
- ②青空古書カフェ：古書店ビルに古書を持ち込める屋上カフェをつくる。
- ③屋上キャンプ：公共施設の屋上をキャンプもできるビアガーデンに。都会を感じられるスペースにしたい。
- ④高架下のおじさん大学：カッコいいおじさんになれる大学をつくる。おじさんが学ぶだけでなく、おじさんが教えたり、大学生に習ったり。
- ⑤古めかしいイノベーション HUB：看板建築などの古いビルを小商いしたい人に貸し出して、面白い人にどんどん来てもらう。

壁面を活用したライフスタイル提案

- ①ビル壁有効活用条例：ビルの壁に折り畳みのカウンターテーブルと椅子を設置しなければいけない、という条例を施行してしまう。

パーキングを活用したライフスタイル提案

- ①大喜利パーキングデイ：パーキングごとのお題を設定し、嗜好の同じ人が集まる出合いのきっかけに。
- ②Holiday spot：小さな駐車場の上部空間にテラスを設置し、公園・喫煙所・農園など、様々な用途に活用。

歴史資源や文化を活用したライフスタイル提案

- ①神田メディアフェス：神田警察通りを歩行者天国にし、上映会やコンテストなどのメディアフェスを開こうという提案。
- ②神田 CIVIC 祭：屋台を路地や広場でやっていこう。同じ形の屋台を共同購入して、食べ物や本、アンティークなども売買。
- ③神田祭りで粋な学生育て：お祭りの運営委員会の会議などを、大学のキャンパスで実施することで、学生と住民との接点をつくり、学生を神田祭の担い手に。
- ④：KANDA のマチ de マッチング：神田わっしょい税を導入。それを財源に、使われていない場所と使いたい人をマッチング。

神田警察通り 賑わい社会実験 2016 報告会のご案内

参加者募集

社会実験 2016 の報告と、「人間中心のまちづくり」を提唱する「ゲール・アーキテクツ」の David Sim 氏をお招きして、一緒に神田のまちの将来像を考えたいと思います。ぜひご参加ください。

2017.3.13 ^{Mo} _N

無 料

昼の部と夜の部で同じプログラムを2回開催します。参加しやすい時間にご参加ください。

昼の部 | 15:00—17:00

定員 150名 | 必ず事前申込をお願いします。
申込いただけない場合は入場できません。

会場 共立女子大学 本館 地下B101講義室
東京都千代田区一ツ橋2-2-1

夜の部 | 18:30—20:30

定員 50名 | なるべく事前申込をお願いします。
申込多数の場合は先着順にさせていただきます。

会場 the C / C-Lounge
東京都千代田区内神田1-15-10 地下1階

GUEST



ゲール・アーキテクツ
クリエイティブディレクター | David Sim 氏

「人間中心のまちづくり」を提唱、いま世界中でその思想が注目されているヤン・ゲール。彼が主宰する「ゲール・アーキテクツ」は、ニューヨークのタイムズスクエアをはじめ世界中の街の表情を一変させた。クリエイティブディレクターのDavid Simからのメッセージは昨年発表された「東京都市白書」にも掲載されるなど、日本でも注目が集まっている。

神田警察通り賑わい社会実験とは

魅力的で賑わいのある将来の神田警察通りの実現に向けて、地域の方々と専門家と一緒に進めているプロジェクトです。2016年11月の通行者の行動調査やミニ社会実験、ワークショップをふまえて、2017年本格実施予定の社会実験に向けて、準備を進めています。

申し込み方法

氏名、年齢、性別、住所、電話番号、希望の時間帯をEメールもしくはFAXで下記までお送りください。
お申込みに際してご登録頂きました個人情報、今後の神田エリアでの社会実験等のご案内に利用させていただきます。
ご案内が不要の場合は、EメールもしくはFAXにその旨も記載のうえお申込み下さい。

Eメール | kanda-pj@ur-net.go.jp | FAX | 03-5323-0989

申込期限 2017.3.8 ^{We} _D

ご参加いただけない方でも、神田警察通り賑わい社会実験や神田エリアのまちづくりについてご意見のある方は、EメールもしくはFAXでご連絡をお願いします。

主催：神田警察通り賑わい社会実験実行委員会（神田警察通り沿道整備推進協議会・UR都市機構）
後援：千代田区 協力：共立女子大学 運営支援：（株）石塚計画デザイン事務所
お問合わせ先：UR都市機構東日本都市再生本部 事業企画部 事業企画第1グループ（担当者：月岡・今井）
電話番号：03-5323-0421 Eメール：kanda-pj@ur-net.go.jp